

国際会計論 Exercise

Chapter 15: 法人所得税の会計

＊ 解答はすべて解答用紙に記述してください。

- 問1 税効果会計の意義について、現金主義および納税額方式と比較して、500 文字程度で説明しなさい。
- 問2 会計観の相違をもとに繰延法と資産負債法の相違について、500 文字程度で説明しなさい。
- 問3 下記の【資料】に基づいて、資産負債法で税効果会計を適用した場合について、以下の設問に答えなさい。なお、決算日は、12 月 31 日とする。
- (1) 決算日における法人税等調整額について仕訳しなさい。
 - (2) 当期純利益を計算しなさい。

【資料】

- ① 第 1 期末の商品 2,000 千円について、陳腐化を原因とする評価損 200 千円を計上した。ただし、法人税法上、この商品評価損の損金算入は認められていない。当該商品は、第 2 期において処分が予定されている。
- ② 税引前当期純利益は、3,000 千円である。
- ③ 課税所得計算に基づいて、法人税、住民税および事業税は、1,280 千円と計算されている。
- ④ 法定実効税率は、40%である。

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 15	ID Number	Name	Grade
法人所得税の会計			

問 1

問 2

問 3

仕訳

日付	借方	金額	貸方	金額
12/31				

当期純利益

計算式	金額